第15章 準備書記載事項の修正の概要

第15章 準備書記載事項の修正の概要

「環境影響評価法」第20条第1項の規定及び「電気事業法」第46条の13の規定に基づく準備書についての兵庫県知事の意見を勘案し、「電気事業法」第46条の14第1項の規定に基づく準備書についての経済産業大臣の勧告を踏まえ、準備書を見直し、その記載事項を修正した。

修正の概要は、第15-1表のとおりである。

第 15-1 表(1) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書 記載頁	修正内容	修正理由
第1章 事業者の名称、代表者の氏名 及び主たる事務所の所在地	1	事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務 所の所在地を変更し、事業の承継について追 加記載した。	記載内容の変更による。
第2章 対象事業の目的及び内容 2.1 対象事業の目的	3	事業者の名称を変更し、事業の承継について 追加記載した。	記載内容の変更 による。
2.2 対象事業の内容2.2.6 工事の実施に係る工法、期間及び工程計画に関する事項6. 騒音及び振動の主要な発生源となる機器の種類及び容量第2.2.6-4表	22	工事中に使用する騒音及び振動の主要な発生 機器の名称及び容量について記載を見直し た。	適切な記載とした。
2.2.9 供用開始後の定常状態における 燃料使用量、給排水量その他の 操業規模に関する事項4. ばい煙に関する事項 第2.2.9-5表(1)~(3)	30、31	ばい煙に関する事項について、熱供給を含まない排出ガス量及び通常の排出濃度に係る内容を追加記載した。	より詳細な記載とした。
11. 緑化計画に関する事項	39	対象法令及び緑地面積について記載を見直した。	より適切な記載 とした。
第3章 対象事業実施区域及びその周囲 の概況 3.1 自然的状況 3.1.1 大気環境の状況 2. 大気質の状況 (2) 大気質の状況 (5) 微小粒子状物質 (PM2.5)	61~63	本文の一部修正及び微小粒子状物質 (PM2.5) の経年変化 (平成23~27年度) の表、グラフ を追加記載した。	より詳細な記載とした。
⑧ 有害大気汚染物質	67	本文中のテトラクロロエチレンの数値を修正 した。	誤記の修正。
3.1.3 土壌及び地盤の状況1. 土壌の状況(2) 対象事業実施区域の土地利用履歴及び土壌汚染の状況	109	事業者の名称を変更した。	記載内容の変更による。
3.1.5 動植物の生息及び生育、植生及び生態系の状況 2. 植物の生育の状況 (1) 植物相及び植生の概要(陸域) ② 植生	141	対象事業実施区域の北側の山地における現存 植生の記載を修正した。	誤記の修正。

第 15-1 表(2) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書 記載頁	修正内容	修正理由
3.2 社会的状況 3.2.8 環境の保全を目的とする法令等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の環境の保全に関する施策の内容 1. 公害関係法令等(2) 規制基準等 ⑤ 水質汚濁 第3.2.8-19表(1)~(3)	225~ 227	水質汚濁防止法による総量規制基準について、神戸製鉄所の特定施設に係る業種その他の区分を見直した。	適切な記載とした。
(3) その他、環境保全計画等 ⑦ 環境保全協定 第3.2.8-28表(1)~(3)	235~ 237	環境保全協定値を追加記載した。	より詳細な記載とした。
第6章 配慮書についての関係地方公共 団体の長の意見及び一般の意見 の概要並びに事業者の見解	297	事業の承継について追加記載した。	記載内容の変更による。
6.3 配慮書についての一般の意見の概要及び事業者の見解6.3.2 一般の意見の概要についての事業者の見解第6.3.2-1表(4)	334	表番号を修正した。	誤記の修正。
第8章 方法書についての意見と事業者 の見解	367	事業の承継について追加記載した。	記載内容の変更 による。
8.2 方法書についての兵庫県知事の意 見及び事業者の見解 8.2.2 兵庫県知事の意見についての事 業者の見解 第8.2.2-1表(4)	434	事業者の見解における準備書内の参照先を修 正した。	誤記の修正。
第10章 環境影響評価の項目、並びに調 査、予測及び評価の手法 10.2 調査、予測及び評価の手法の選定 及び理由 10.2.1 調査、予測及び評価の手法 第10.2-1表(16)	469	粉じん等の予測対象時期を修正した。	誤記の修正。
第10.2-1表(20)	474	騒音の予測対象時期を修正した。	誤記の修正。
第12章 環境影響評価の結果 12.1 調査の結果の概要並びに予測及び 評価の結果 12.1.1 大気環境 1. 大気質 (1) 調査結果の概要 ① 気象の状況 a. 文献その他の資料調査 (d) 調査結果 第12.1.1.1-1表	532	観測期間に係る注釈を追加記載した。	より詳細な記載とした。
⑤ 重金属等の微量物質の濃度の状況 b. 現地調査 (f) 調査結果 第12.1.1.1-35表	662	表中の数値の一部を修正した。	誤記の修正。

第 15-1 表(3) 準備書記載事項の修正の概要

	評価書		
項目	記載頁	修正内容	修正理由
(2) 予測及び評価の結果		予測対象時期の修正及び、第12.1.1.1-43表の	誤記の修正。
① 工事の実施		修正に伴い、本文を修正した。	
a. 工事用資材等の搬出入	676		
(c) 粉じん等の予測	010		
ウ. 予測対象時期			
才. 予測結果		**************************************	30 30 W T
第12. 1. 1. 1-43表	677	表中の工事関係車両及び、割合等の数値の一 部を修正した。	誤記の修正。
(d)評価の結果	678	評価の追加記載及び、第12.1.1.1-43表の修正	誤記の修正。
1. 環境保全の基準等との整合性	010	に伴い、本文中の数値を修正した。	
b. 建設機械の稼働	679	環境保全措置を追加記載した。	より適切な記載
(a) 環境保全措置 (b) 窒素酸化物の予測		工事計画の変更内容を反映し、建設機械の稼	とした。 誤記の修正。
(B) 室系酸化物の予例 エ. 予測手法		工事計画の変更内容を反映し、建設機械の修 働に伴う窒素酸化物の月別排出量を修正し	
(1) 予測条件	685	動に行う至米版化物の方別併山里を修正した。	
i. 煙源の諸元	000	100	
第12. 1. 1. 1-31図			
第12.1.1.1-47表(1)	686	表中のオールテレーンクレーンの稼働時間を	誤記の修正。
	000	修正した。	
(d) 評価の結果 7. 環境影響の回避・低減に関する評価	690	環境保全措置を追加記載した。	より適切な記載とした。
② 土地又は工作物の存在及び供用		煙源の諸元について、予測条件の詳細を追加	誤記の修正及び
a. 施設の稼働 (排ガス)		記載した。	より詳細な記載
(b) 年平均値の予測	696、	A 1/4 - 1 - 0	とした。
工. 予測手法	697		-
(イ) 予測条件			
i. 煙源の諸元			
オ. 予測結果	5 00	表中の数値の一部を修正した。	誤記の修正。
(ウ) 浮遊粒子状物質 第12.1.1.1-57表(1)	708		
(c) 日平均値の予測		注4に、黄砂が観測された日は対象から除外	適切な記載とし
(c) 1		する旨を追加記載した。	<u> </u>
(イ) 実測高濃度日	719) of exemiliary ones	700
iii. 浮遊粒子状物質			
第12.1.1.1-63表			
(d) 特殊気象条件下の予測		煙源の諸元について、予測条件の詳細を追加	より詳細な記載
7. 逆転層形成時		記載した。	とした。
(工) 予測手法	724		
ii. 予測条件 (i)煙源の諸元			
(1) 煙源の諸元 第12. 1. 1. 1-64表			
(e) 地形影響の予測		本文の一部を見直した。	誤記の修正。
工. 予測手法		1 1 24 2 HP C 20E C 1C0	W.HO. > IS TTO
(1) 予測条件	747		
iii. 気象条件			
t. 予測結果]	注1のバックグラウンド濃度の対象期間を修	誤記の修正及び
第12.1.1.1-74表(2)	749	正するとともに、黄砂が観測された日は対象	適切な記載とし
	1	から除外する旨を追加記載した。	た。
(f) 重金属等の微量物質の予測 エ. 予測手法	750	対象条例について記載を見直した。	より適切な記載 とした。
(1) 予測条件	-	表中の大気への排出割合、排煙中の重金属等	誤記の修正。
第12. 1. 1. 1-75表	751	の微量物質濃度の数値の一部を修正した。	HXTICマノIシエ-0
t. 予測結果	751	第12.1.1.1-76表(1)~(10)の修正に伴い、本	誤記の修正。
	751	文を修正した。	

第 15-1 表(4) 準備書記載事項の修正の概要

Æ 11	評価書	liter To the stars	<i>lk</i> r → r= ↓
項目	記載頁	修正内容	修正理由
第12.1.1.1-76表(1)~(10)	752~ 755	表題への調査地点の追加記載及び、表中の最大着地濃度、将来環境濃度、寄与率の数値の一部を修正した。	誤記の修正。
(g) 評価の結果 4. 環境保全の基準等との整合性 (ア) 年平均値 第12.1.1.1-77表	757	表中の環境基準の年平均相当値を範囲で記載するとともに、注3の関係式の数値を修正した。	誤記の修正。
(イ) 日平均値 ii. 実測高濃度日 第12.1.1.1-78表(2)	759	注1に、黄砂が観測された日は対象から除外する旨を追加記載した。	適切な記載とした。
(ウ) 特殊気象条件下	760	本文の一部を見直した。	適切な記載とした。
(エ) 地形影響 第12.1.1.1-80表	763	注1のバックグラウンド濃度の対象期間を修正するとともに、黄砂が観測された日は対象 から除外する旨を追加記載した。	誤記の修正及び 適切な記載とし た。
(t) 重金属等の微量物質 第12.1.1.1-81表	764	第12.1.1.1-76表(1)~(10)の修正に伴い、本 文及び表中の一部の数値を修正した。	誤記の修正。
b. 資材等の搬出入 (b) 窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の 予測		表中の項目名を修正した。	誤記の修正。
t. 予測結果 (ア) 窒素酸化物(NO _x) 第12.1.1.1-84表、 第12.1.1.1-85表	770、 771		
2. 騒音 (1) 調査結果の概要 ④ 騒音の状況 a. 現地調査 (e) 調査結果 第12.1.1.2-3表(1)	786	表中の天気の一部を修正及び注5を追加記載した。	誤記の修正及び適切な記載とした。
第12. 1. 1. 2-3表 (1)	787	表中の風速及び騒音レベルの一部を修正した。	誤記の修正。
(2) 予測及び評価の結果① 工事の実施a. 工事用資材等の搬出入(d) 予測対象時期	789	本文中の予測対象時期を修正した。	誤記の修正。
第12.1.1.2-3図(3)	791	最大交通量の月数を修正した。	誤記の修正。
(e) 予測手法 1. 予測条件 (7) 交通量 第12.1.1.2-4表	794	表題の予測対象時期を修正及び表中に時間の区分を追加記載した。	誤記の修正。
(f) 予測結果 第12. 1. 1. 2-5表	795	表題の予測対象時期を修正した。	誤記の修正。
b. 建設機械の稼働 (d) 予測対象時期 第12.1.1.2-5図	797	音響パワーレベルを修正した。	誤記の修正。
(e) 予測手法 第12.1.1.2-6図	798	「最大時期の決定(工事中)」を追加記載した。	より適切な記載とした。
7. 計算式	799	変動騒音の計算式等を追加記載した。	より適切な記載 とした。
1. 予測条件 第12.1.1.2-7表	802	発動発電機の規格を修正するとともに、表中 に補正量α欄を追加記載した。	誤記の修正及び 適切な記載とし た。

第 15-1 表(5) 準備書記載事項の修正の概要

	評価書	// I	//
項目	記載頁	修正内容	修正理由
(f) 予測結果		本文中、表中の数値の一部を修正及び注7を	誤記の修正及び
第12.1.1.2-8表(1)	803、	追加記載した。	適切な記載とし
(g) 評価の結果	804		た。
1. 環境保全の基準等との整合性			. =0
② 土地又は工作物の存在及び供用		気象条件による補正項の一部を修正した。	誤記の修正。
a. 施設の稼働 (機械等の稼働)		74337411 0. 0 III 2 7	7.12
(e) 予測手法	808		
7. 計算式			
(f) 予測結果	812	本文中の数値を修正した。	誤記の修正。
第12.1.1.2-10表(1)		表中の予測値の数値の一部を修正するととも	誤記の修正及び
),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	813	に、注6を修正、注7を追加記載した。	適切な記載とし
	010	(I C C D II C C D II C C	た。
第12.1.1.2-10表(2)		表中の予測値の数値の一部を修正するととも	誤記の修正及び
3,712. 1. 1. 2 1042 (2)	814	に、注6を修正、注7を追加記載した。	適切な記載とし
	011		た。
第12.1.1.2-10表(3)		表中の現況実測値、予測値、合成値の数値の	誤記の修正。
9,712. 1. 1. 2 1042 (0)	815	一部を修正した。	がにからず。
b. 資材等の搬出入		表中に時間の区分を追加記載した。	より適切な記載
(e) 予測手法		3. 「C-N 間 シ 区 力 と 足 加	とした。
1. 予測条件	819		C 07C0
(7) 交通量	010		
第12.1.1.2-11表			
3. 振動		表中の天気(夜間)を修正した。	誤記の修正。
(1) 調査結果の概要		X 1 5 7 7 N (Kin) E B L C 7 C o	W(110 10 110 110 110 110 110 110 110 110
④振動の状況	827、		
a. 現地調査	828		
(e) 調査結果			
第12.1.1.3-4表(1)、(2)			
(2) 予測及び評価の結果		建設機械の稼働に伴う月別の振動レベルを修	誤記の修正。
①工事の実施		正した。	W (H G
b. 建設機械の稼働	837		
(d) 予測対象時期			
第12.1.1.3-3図			
(e) 予測手法		「最大時期の決定(工事中)」を追加記載し	より適切な記載
第12.1.1.3-4図	838	た。	とした。
1. 予測条件	0	クラムシェルの規格を修正した。	誤記の修正。
第12. 1. 1. 3-8表	841		—•
(f) 予測結果		表中の予測値の数値の一部を見直しするとと	誤記の修正及び
第12.1.1.3-9表(2)	842	もに、注5を追加記載した。	より適切な記載
			とした。
② 土地又は工作物の存在及び供用		表中の振動レベルの数値の一部を修正した。	誤記の修正。
a. 施設の稼働 (機械等の稼働)		3.12 3.12	
(e) 予測手法	846		
1. 予測条件			
第12. 1. 1. 3-10表			
(f) 予測結果	0.10	第12.1.1.3-11表(1)、(2)の修正に伴い、本文	誤記の修正。
	848	中の一部の数値を修正した。	
第12.1.1.3-11表(1)、(2)	849、	表中の予測値、合成値、施設の稼働による増	誤記の修正。
,,	850	分の数値の一部を修正した。	
(g)評価の結果		第12.1.1.3-11表(1)の修正に伴い、本文中の	誤記の修正。
イ. 環境保全の基準等との整合性	851	数値の一部を修正した。	
· NORWIN TANELLY	1	DWIE - THE INTE OTO	

第 15-1 表(6) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書	修正内容	修正理由
	記載頁		
4. 低周波音		表中の風速(夜間)の数値を修正した。	誤記の修正。
(1) 調査結果の概要			
① 低周波音の状況	858、		
a. 現地調査	859		
(e) 調査結果			
第12.1.1.4-1表(1)、(2)		「子本に持ったと、と判りした	本団をきまし
(2) 予測及び評価の結果 ① 土地又は工作物の存在及び供用		「工事区域の設定」を削除した。	適切な記載とし
a. 施設の稼働 (機械等の稼働)	864		た。
(e) 予測手法	004		
第12.1.1.4-1図			
7. 計算式		 c : 音の伝搬速度(m/s)を削除した。	誤記の修正。
第12.1.1.4-2図	865		が記りを
f. 予測条件	0.00	表中の音圧レベルの数値の一部を修正した。	誤記の修正。
第12. 1. 1. 4-3表	866	3.12 1.10 2.2 - 1.10	
(f) 予測結果	868、	表中の予測値、合成値、施設の稼働による増	誤記の修正。
第12.1.1.4-4表(1)、(2)	869	分の数値の一部を修正した。	
第12.1.1.4-5表(1)~(4)	870~	表中の予測値、合成値の数値の一部を修正し	誤記の修正。
	873	た。	
第 12. 1. 1. 4-4 図 (1) ~ (3) 、 (5) ~	875~	第12.1.1.4-5表(3)、(4)の修正に伴い、グラ	誤記の修正。
(9) (11) \sim (15) (877、	フを修正した。	
$(17) \sim (21)$, (23)	879~		
~(24)	883、		
第 12. 1. 1. 4-5 表 (1) ~ (3) 、 (5) ~	885~		
$(9), (11) \sim (15),$	889、		
$(17) \sim (21)$, (23)	891~		
\sim (24)	895、		
	897、		
12.1.2 水環境	898	 第12.1.2.1-3表の修正に伴い、数値を修正し	誤記の修正。
12.1.2 水環境 1. 水質		第12.1.2.1-3衣の修正に伴い、剱値を修正し た。	映記の修正。
1. 小員 (1) 調査結果の概要		/	
① 水の汚れの状況			
b. 現地調査	908		
(f) 調査結果			
ウ. 溶存酸素量(DO)			
1. 大腸菌群数			
第12. 1. 2. 1-3表	909	第12.1.2.1-4表(2)、(3)、(6)の修正に伴い、	誤記の修正。
	909	数値の一部を修正した。	
第12.1.2.1-4表(2)	911	水素イオン濃度〔pH〕に係る数値の一部を修	誤記の修正。
	011	正した。	
第12. 1. 2. 1-4表(3)	912	溶存酸素量 [DO] に係る数値の一部を修正し	誤記の修正。
			======================================
第12.1.2.1-4表(6)	915	大腸菌群数に係る数値の一部を修正した。	誤記の修正。
第12. 1. 2. 1-5表	916	第12.1.2.1-4表(3)、(6)の修正に伴い、数値 の一部を修正した。	誤記の修正。
② 富栄養化の状況		第12.1.2.1-9表(2)の修正に伴い、数値の一部	誤記の修正。
b. 現地調査	921	を修正した。	
(f) 調査結果	941		
第12.1.2.1-8表			
第12.1.2.1-9表(2)	923	全燐 [T-P] に係る数値の一部を修正した。	誤記の修正。

第 15-1 表(7) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書	修正内容	修正理由
	記載頁		
第12. 1. 2. 1-10表	924	調査結果(表層)に係る数値の一部を修正した。	誤記の修正。
③ 水の濁りの状況		第12.1.2.1-14表の修正に伴い、数値の一部を	誤記の修正。
b. 現地調査	927	修正した。	
(f) 調査結果	927		
第12. 1. 2. 1-13表			
第12. 1. 2. 1-14表	928	浮遊物質量 [SS] に係る数値の一部を修正した。	誤記の修正。
(2) 予測及び評価の結果		汚濁限界粒子径(d)と汚濁限界流速(Vc)の関	誤記の修正。
① 工事の実施		係における(1) Ingersol式を修正した。	
a. 建設機械の稼働(水の濁り)		Mir. 12.17 @ (2) ===8==== (2 2 == 0 / 2)	
(e) 予測手法			
1. 予測条件	999		
(イ) 濁りの発生量			
i. 発生量の算定方法			
第12.1.2.1-16図	1		
② 土地又は工作物の存在及び供用		神戸製鉄所における全燐(T-P)に係る排出負	誤記の修正。
a. 施設の稼働(排水:水の汚れ及び富			
		荷量(現状)を修正した。	
栄養化)	1000		
(e) 予測手法	1008		
(a) Null (4. # B			
(ア) 排出負荷量			
第12. 1. 2. 1-23表		V) 0 - 14 1-21 40 T (04-17) 1	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
(f) 予測結果	1010	注2の追加記載及び表題を修正した。	適切な記載とし
第12. 1. 2. 1-24表 (1) ~ (3)		[고도] - o - o - // · o - // / o	た。
第12. 1. 2. 1-23図(1)	1013	図中に0.10mg/Lの等濃度線の一部を追加記載 した。	適切な記載とした。
12.1.3 動物		図中に改変区域、樹木伐採範囲を追加記載し	適切な記載とし
1. 重要な種及び注目すべき生息地(海		た。	た。
域に生息するものを除く)	1041、	凡例の一部を修正した。	
(1) 調査結果の概要	1041		
① 動物相の状況	1040		
第12.1.3.1-1図、			
第12.1.3.1-2図			
e. 昆虫類相の状況		本文の一部を修正した。	誤記の修正。
(b) 現地調査	1054		
工. 調査方法	1054		
(ア) 一般採集調査	1		
② 重要な種及び注目すべき生息地の分		現地確認状況に係る記載の見直し及び注釈を	より適切な記載
布、生息の状況及び生息環境の状況		追加記載した。	とした。
b. 現地調査	1064~		
(a) 重要な種の調査	1067		
ウ. 調査結果			
第12.1.3.1-14表(1)~(4)			
第12.1.3.1-3図(1)~(26)		図中に改変区域、樹木伐採範囲を追加記載し	適切な記載とし
), (10)	1068~	た。	た。
	1093	ん。 凡例の一部を修正した。	/-0
	l	/ログルイ 目がで 101111 0/110	

第 15-1 表(8) 準備書記載事項の修正の概要

-T 19	評価書	litera (Carlo	/ 6
項目	記載頁	修正内容	修正理由
(2) 予測及び評価の結果 ① 工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用 a. 造成等の施工による一時的な影響、地形改変及び施設の存在 (a) 環境保全措置 (e) 予測結果 (f) 評価の結果	1094~ 1100	本文中の緑地面積、分布・生態的特徴及び重要な種に係る現地確認状況についての記載を 見直した。	より適切な記載 とした。
 海域に生息する動物 調査結果の概要 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況 現地調査 調査結果 第12.1.3.2-12表 	1145	イワガキの選定根拠を修正した。	誤記の修正。
第12. 1. 3. 2-13表(1)	1146	サルボウガイ 底生生物(マクロベントス、夏季)の調査地点を修正した。	誤記の修正。
第12. 1. 3. 2-14表(1)~(3)	1148~ 1150	イワガキ、アカガイ、ヘイケガニ、ムラサキ ハナギンチャク、ヒメイカの選定基準を修正 した。	誤記の修正。
(2) 予測及び評価の結果 ① 土地又は工作物の存在及び供用 b. 施設の稼働(温排水) (f) 評価の結果 7. 環境影響の回避・低減に関する評価	1156	本文の一部を修正した。	誤記の修正。
12.1.4 植物 1. 重要な種及び重要な群落(海域に生育するものを除く) (1) 調査結果の概要 ① 植物相及び植生の状況 a. 植物相の状況 (b) 現地調査 オ. 調査結果 第12.1.4.1-1表	1158	注3を追加記載した。	より適切な記載とした。
第12. 1. 4. 1-1図	1159	図中に改変区域、樹木伐採範囲を追加記載した。 凡例の一部を修正した。	適切な記載とした。
b. 植生の状況 (a) 文献その他の資料調査 ウ. 調査結果	1160	対象事業実施区域の北側の山地における現存 植生の記載を修正した。	誤記の修正。
② 重要な種及び重要な群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況b. 現地調査(c) 調査結果第12.1.4.1-3図(1)~(6)	1167~ 1172	図中に改変区域、樹木伐採範囲を追加記載した。 凡例の一部を修正した。	適切な記載とした。
 (2) 予測及び評価の結果 ① 工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用 a. 造成等の施工による一時的な影響、地形改変及び施設の存在 (a) 環境保全措置 (f) 評価の結果 7. 環境影響の回避・低減に関する評価 	1173、 1174	本文中の緑地面積についての記載を見直した。	より適切な記載とした。

第 15-1 表(9) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書	修正内容	修正理由
(大口)	記載頁	廖 亚四在	修正理田
 海域に生育する植物 予測及び評価の結果 土地又は工作物の存在及び供用 施設の稼働(温排水) 予測結果 海藻草類 	1206	本文中の表現を見直した。	より適切な記載とした。
12.1.5 生態系 1. 地域を特徴づける生態系 (1) 動植物その他の自然環境に係る概況 ① 調査結果の概要 a. 文献その他の資料調査 (c) 調査結果 7. 動植物の概要 第12.1.5-1表	1209	対象事業実施区域の北側の山地における現存 植生の記載を修正した。	誤記の修正。
(2) 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況 ② 上位性の注目種(チョウゲンボウ)に係る調査の結果 c. 現地調査 (b) 調査地点 7. 生息状況調査 4. 餌量調査 第12.1.5-3図	1221	図中に改変区域、樹木伐採範囲を追加記載した。 凡例の一部を修正した。	適切な記載とした。
(c) 調査期間 7. 生息状況調査 第12.1.5-12表	1223	調査地点st.3及びst.9での平成27年5月12日及び6月22日における調査時間を修正した。	誤記の修正。
(g) 調査結果 第12.1.5-5~7図	1228~ 1230	図中に改変区域、樹木伐採範囲を追加記載した。 凡例の一部を修正した。	適切な記載とした。
(g) 調査結果4. 解析結果(イ) チョウゲンボウの好適採餌環境指数の算出第12.1.5-18表	1237	チョウゲンボウのハンティング行動の指数及 び各メッシュにおける好適採餌環境指数に係 る本文中及び表中の数値の一部を修正した。	誤記の修正。
第12. 1. 5-19表	1238	各メッシュにおける好適採餌環境指数に係る 数値の一部を修正した。	誤記の修正。
第12.1.5-9図	1239	第12.1.5-19表の修正に伴い、図を修正した。	誤記の修正。
 ③ 典型性の注目種(カワラヒワ)に係る調査の結果 c. 現地調査(b)調査地点 7. 生息状況調査 イ. 餌量調査 第12.1.5-12図 	1245	図中に改変区域、樹木伐採範囲を追加記載した。 凡例の一部を修正した。	適切な記載とした。
(g) 調査結果 7. 現地調査結果 (ア) カワラヒワの出現状況 第12.1.5-15図	1251	図中に改変区域、樹木伐採範囲を追加記載した。 凡例の一部を修正した。	適切な記載とした。

第 15-1 表(10) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書 記載頁	修正内容	修正理由
 ④ 予測及び評価の結果 a. 工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用 (a) 造成等の施工による一時的な影響、地形改変及び施設の存在 7. 環境保全措置 4. 予測地域 ウ. 予測対象時期 エ. 予測手法 カ. 評価の結果 (7) 環境影響の回避・低減に関する評価 	1261、 1266	環境保全措置、予測地域、予測対象時期、予 測手法を生態系に則した内容に修正し、また 緑地面積についての記載を見直した。	誤記の修正及び適切な記載とした。
12.1.6 景観 1. 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観 (2) 予測及び評価の結果 ① 土地又は工作物の存在及び供用 a. 地形改変及び施設の存在 (f) 予測結果 イ. 主要な眺望景観 (オ) 六甲アイランド北公園	1280	六甲アイランド内の視点場から見た六甲山の 稜線への影響について追加記載した。	兵庫県知事意見 を踏まえた見直 しによる。
12.1.8 廃棄物等 2. 残土 (1) 予測及び評価の結果 ① 工事の実施 a. 造成等の施工による一時的な影響 (f) 評価の結果 7. 環境影響の回避・低減に関する評価	1313	工事の実施に伴う発生土量を修正した。	誤記の修正。
12.1.9 温室効果ガス等 1. 二酸化炭素 (1) 予測及び評価の結果 ① 土地又は工作物の存在及び供用 a. 施設の稼働(排ガス) (d) 予測手法	1315	炭素排出係数に関する説明内容を修正した。	誤記の修正。
(f) 評価の結果 7. 環境影響の回避・低減に関する評価 4. 環境保全の基準等との整合性 12.2 環境の保全のための措置	1316~ 1319	二酸化炭素排出削減に向けた取り組みについて、追加記載した。 全体的事項及び、大気、水質、動物、植物、	経済産業大臣の 勧告を踏まえた 見直しによる。 経済産業大臣の
12.2.1 環境の保全のための措置の基本的な考え方	1321~ 1328	生態系、廃棄物の環境保全について追加記載した。	勧告を踏まえた 見直しによる。
12.2.3 環境保全措置の検討結果の整理1. 「工事の実施」に係る環境保全措置(1) 大気環境	1331	環境保全措置の内容を追加記載した。	より適切な記載 とした。
 1. 「土地又は工作物の存在及び供用」に係る環境保全措置 (3) 動物・植物 (4) 生態系 (5) 景観 	1340~ 1343	表中の緑地面積について記載を見直した。	より適切な記載とした。
12.2.4 環境保全措置に係る環境監視計画	1345	関係条例に基づく事後監視調査及び事後調査 を実施する旨を追加記載した。	兵庫県知事意見 を踏まえた見直 しによる。
第12. 2. 4-1表(1)	1346	建設機械の稼働状況に係る監視項目を追加記 載した。	より適切な記載とした。
第12. 2. 4-1表(2)	1347	残留塩素の実施内容を見直した。	より詳細な記載とした。

第 15-1 表(11) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書 記載頁	修正内容	修正理由
12.4 環境影響の総合的な評価	1357~ 1485	「12.1 調査の結果の概要並びに予測及び評価 の結果」における修正内容を反映した。	記載内容の見直 しによる。
第16章 環境影響評価を委託した事業者 の名称、代表者の氏名及び主た る事務所の所在地	1733、 1734	本文の一部を修正した。	適切な記載とした。